

ただいま入学を許可いたしました43名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの入学を祝福すると共に、心から歓迎いたします。

保護者ならびにご関係の皆様、今日まで、ご心配やご苦勞を重ねてこられたことと存じます。ご入学心よりお慶び申し上げます。また、本日、入学式を挙行いたしましたところ、公私ご多用にもかかわらず、ご来賓の皆様にご臨席を賜りましたこと、高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

さて、新入生のみなさんはここ寝屋川高等学校 定時制の課程 を自分の意志で選択し今ここにいるものと思います。

今日を迎えるまでには一人一人ドラマがあったことと思います。これまでの人生、思い通りにいかなかった人、何度も厄介なことに見舞われてきた人、様々あると思いますが、今日からは新たなスタートです。過去にとらわれることなく高校生活を謳歌してほしいと思います。

そこで、高校生活を有意義におくるための能力を1つお伝えしたいと思います。

それは「受援力」という能力です。

どのような人でも、日々の生活や目標の達成には、様々な困難が伴います。この社会において、悩みを持たない人はいないでしょう。ましてや皆さんの年代であれば、解決すべき問題や乗り越えるべき課題がたくさんあり、悩みが尽きないのが普通です。では、皆さんは、そんな悩みを抱えて、途方に暮れてしまった時、どうしているでしょうか。

一時的に休憩したり、その場から離れるのも、賢明な方法です。また、問題を様々な角度から見直してみたり、解決のための創意工夫をすることも重要です。自力で何とかしようとする努力は、精神的成長を促す力となります。しかし、自分の限界を超え、どうにもならなくなることもあるでしょう。このように追い詰められたとき、他の人から助言や支援を求めることはとても有効です。

これが先ほどお伝えした「受援力」なのです。

「受援力」とは、助けを求めたり、助けを受けたりする心構えやスキルのことです。ですが、助けを求めようとしても・・・

プライドが邪魔をしたり

自分の悩みは誰にも理解できない

助けを求めたら、他の人に迷惑がかかる

助けを求めてもどうせ何ともならない

助けを求めるのは弱い人間のすること

助けを求めて断られたらどうしよう

などと考え、助けを求めることを諦めていませんか。

だからみなさんに伝えます。適切に助けを求めることは良いことです。そして助けを求めることは、重要な能力の1つなのです。ですから、必要だと感じたときは、躊躇せず、助けを求めてください。ここには、その助けを受け止めてくれる先生たちがいます。

また、周りの人も助けを求めてきた人には手を差し伸べてください。解決できなくともかまいません。相談相手になるだけでいいのです。きっと、その人は、次に、あなたが助けが必要な時に力になってくれるはずです。

最後に、若い皆さんの前には幾つもの進むことのできる道があります。どの道を歩んで行こうと、皆さんの人生です。この学校の選択もそうですが、1つ1つ自分が決めた道です。だから誰もが自分の人生と闘っているのです。最後には笑えるように。

今日から、ここ「ねやてい」での学校生活がそんな「笑える未来の礎」となることを心より願い、式辞といたします。

令和六年四月五日
大阪府立寝屋川高等学校
准校長 服部 有晋